

第8回

バナナ・果物

消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2012年7月
(8月7日はバナナの日)

目次

調査概要	2
調査結果	
よく食べる果物	3
果物を食べる頻度	3
バナナを食べることが多いタイミング	4
朝食に食べる物	4
バナナを食べる頻度	5
この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由	5
バナナを食べる理由	6
バナナを食べているシーン	6
知られているバナナの栄養素	7
知られているバナナの効果・効能	7
気になるバナナの効果・効能	8
知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能	8
バナナを買うときの基準	9
バナナの価格意識	9
知られているバナナの熟度と熟度の効能	10
熟度の効能への興味関心	10
統計資料	11

調査概要

●調査目的

本年で8回目の調査となる『バナナ・果物消費動向調査』では、例年に引き続き、バナナの食用実態や購入実態の把握を目的とするとともに、近年注目が集まってきているバナナの栄養素や効果・効能、また熟度に対する一般消費者の認知度についても調べました。

●サマリー

バナナは8年連続よく食べる果物で1位となりました。

バナナの栄養素としては、昨年に引き続き「食物繊維」「糖質」「カリウム」などの認知度が高く、気になるバナナの効果・効能としては、昨年に引き続いて「免疫力を高める」が首位で、これに「豊富な食物繊維により消化を助ける」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」などが続いています。

●調査対象：全国16歳以上の男女

●調査時期：2012年06月26日～2012年06月27日

●調査方法：インターネット

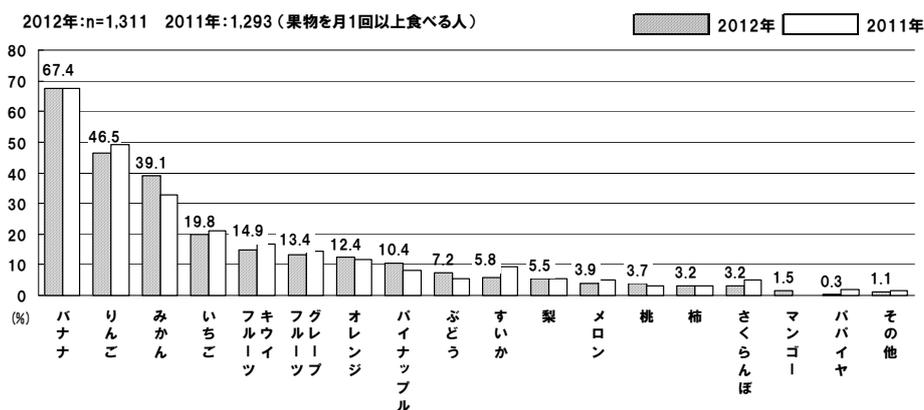
●属性割付：

		人数
合計		1,442
性別	男	721
	女	721
性別一年齢層	男-10代	103
	男-20代	103
	男-30代	103
	男-40代	103
	男-50代	103
	男-60代	103
	男-70歳以上	103
	女-10代	103
	女-20代	103
	女-30代	103
	女-40代	103
	女-50代	103
	女-60代	103
	女-70歳以上	103

よく食べる果物

「バナナ」…約67%、「りんご」…約47%、「みかん」…約39%、「いちご」…約20%
 バナナは回答者の7割近くがよく食べる果物として挙げており、8年連続、よく食べる果物の1位です。

Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(複数回答/3つまで)



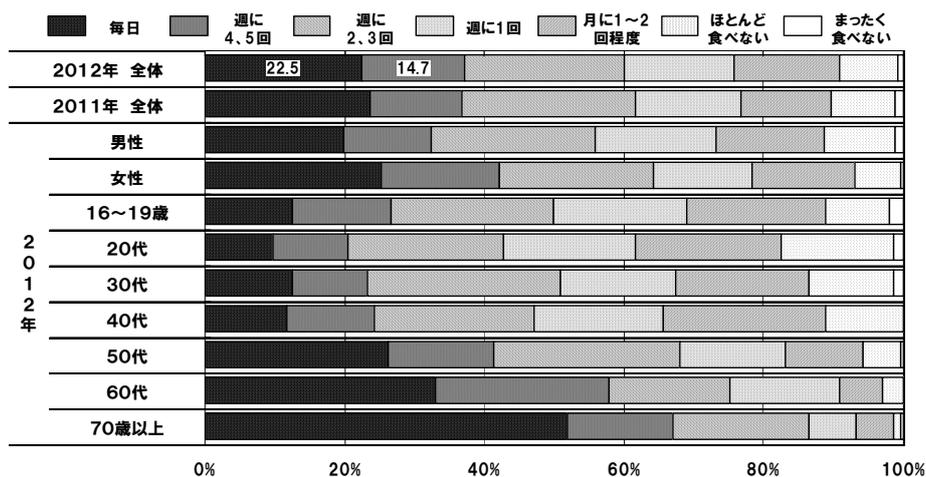
果物を食べる頻度

「毎日」が約23%、「週4、5回」が約15%で、全体の4割近くが「週に4~5回以上」果物を食べています。

「毎日」果物を食べる人は、男性よりも女性がやや多い他、年齢が高くなるほど増える傾向がみられます。

Q. あなたはどのくらいの頻度で果物を食べますか。(単一回答)

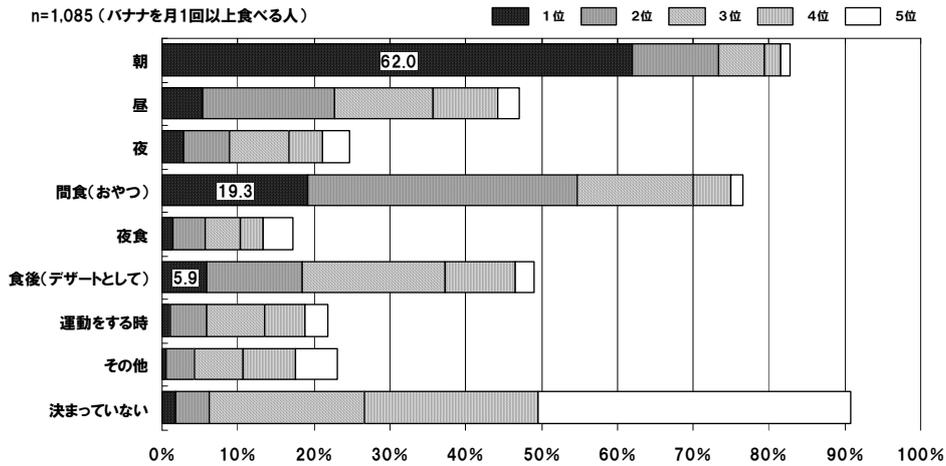
n=1,442 (全員回答)



バナナを食べることが多いタイミング

バナナを食べるタイミングの1位をみると、「朝」が62%と極めて高く、「間食(おやつ)」が約19%と続いています。

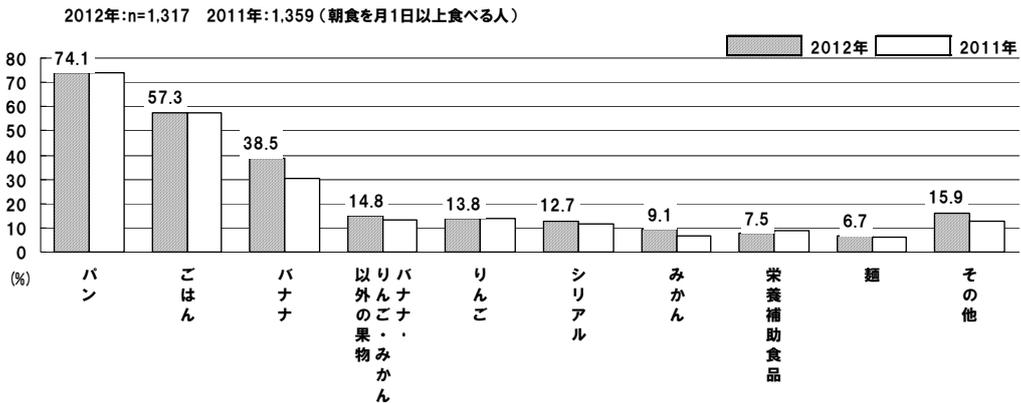
Q. あなたはバナナをいつ食べる人が多いですか。(食べる人が多い順に5位まで)(各単一回答)



朝食に食べる物

「パン」が約74%で最も高く、次いで「ごはん」約57%、「バナナ」約39%と続いています。時系列でみると、2012年度は2011年度と比べて「バナナ」が増加、「パン」「ごはん」は横這いで推移しました。

Q. あなたは朝食にどんなものを食べますか。(複数回答)

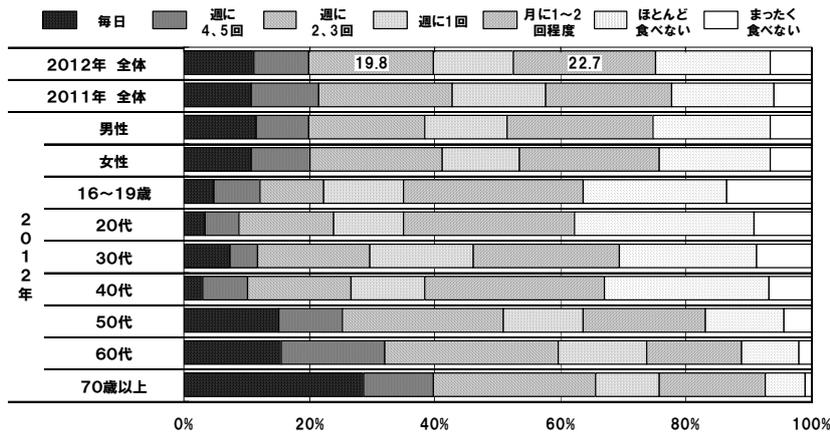


バナナを食べる頻度

「月1～2回程度」が約23%と最も多く、次に「週2、3回」が約20%で続きます。50代以上では、6割以上がバナナを「週1回」以上食べていると回答しています。

Q. あなたはどのくらいの頻度でバナナを食べますか。(単一回答)

n=1,442 (全員回答)



この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由

「非常に増えた」「やや増えた」をあわせて約28%、「やや減った」「非常に減った」をあわせて約20%でした。

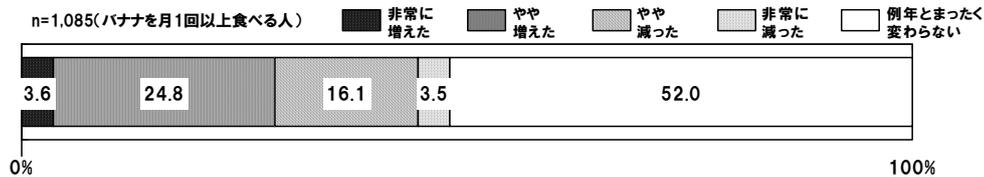
増減理由の傾向は下表にまとめた通りで、増加要因は「ダイエット」「健康」「ジュース化」、減少要因の軸は「バナナへの飽き」などが、それぞれ中心的な理由となっています。

Q. この一年で、バナナを食べる頻度(量)はどのように変化しましたか。(単一回答)

Q. この一年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由をお答えください。(自由回答)

■ 増減

n=1,085 (バナナを月1回以上食べる人)



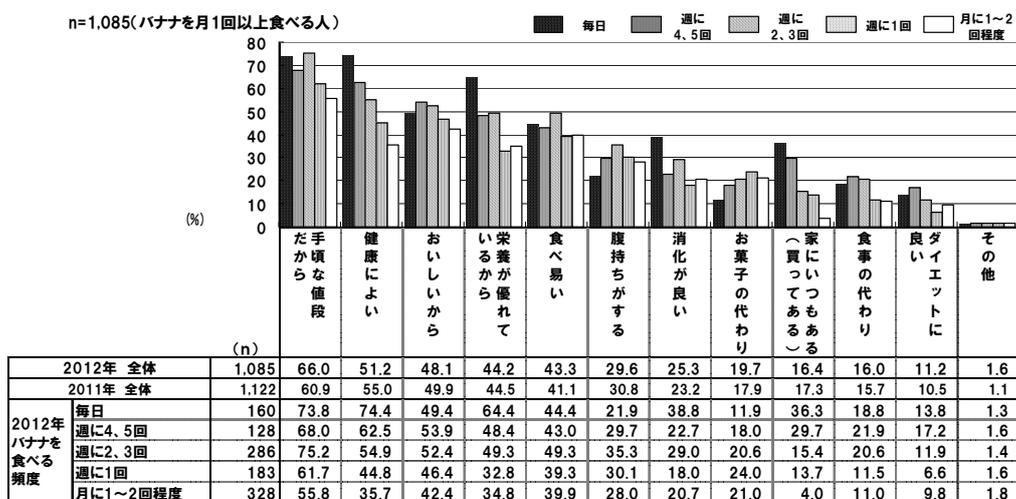
■ 増減理由の傾向 (自由回答を整理)

非常に増えた理由(39名)	やや増えた理由(269名)	やや減った理由(175名)	非常に減った理由(38名)
<ul style="list-style-type: none"> ・ダイエット ・ジュースにして飲用 (女性では便秘解消目的も) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事(朝食)代わり ・健康志向 ・ダイエット ・ジュースにして飲用 	<ul style="list-style-type: none"> ・飽き(「特になし」も多い) ・(上記関連)他の果物への流出 ・食事量の減少・抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ・飽き ・食費の抑制 ・(若年層)独居・自炊の開始

バナナを食べる理由

「手頃な値段だから」が約66%でトップ。次いで、「健康によい」(約51%)、「おいしいから」(約48%)などが上位に挙げられています。
 「健康によい」、「栄養が優れているから」は、全般にバナナを食べる頻度が多くなるほど、増える傾向がみられます。

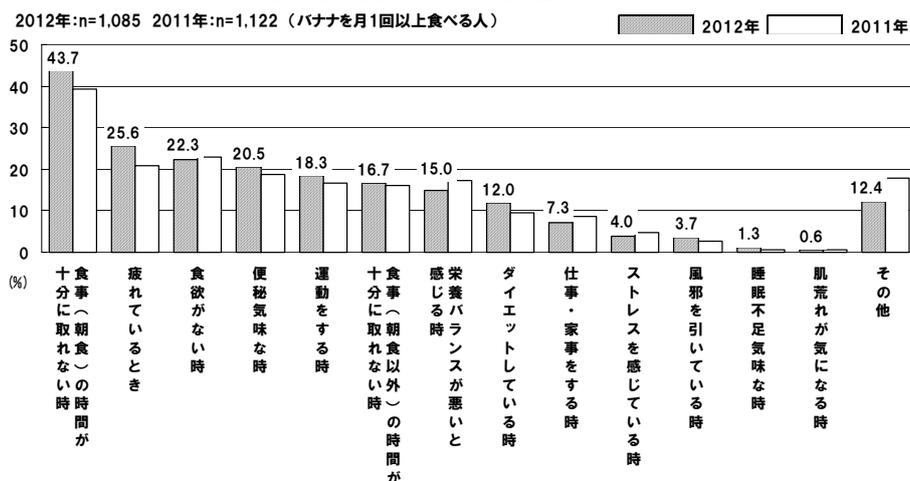
Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答)



バナナを食べているシーン

「食事(朝食)の時間が十分に取れない時」が約44%で最も高く、「疲れているとき」約26%、「食欲がない時」約22%、「便秘気味な時」約21%が続いています。

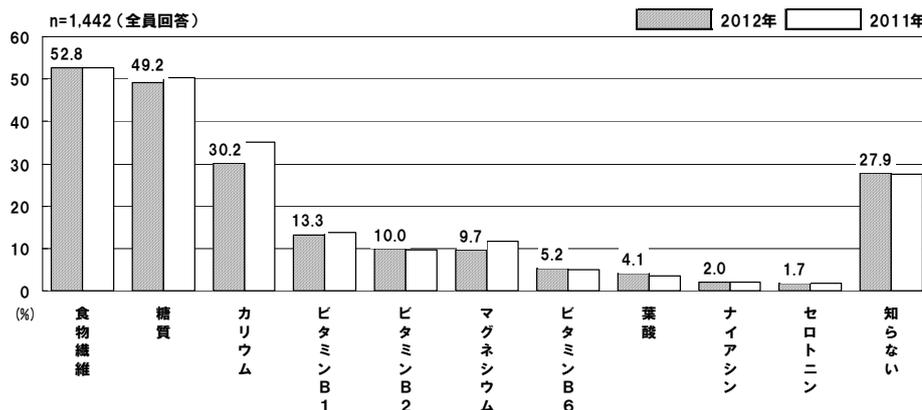
Q. あなたはバナナをどんな時に食べたいと思いますか。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの栄養素

トップは「食物繊維」で約53%、次いで「糖質」約49%、「カリウム」約30%が続いています。その他の栄養素の認知度は、2割未満で低くなっています。

Q. あなたが知っているバナナの栄養素をお選びください。(複数回答)

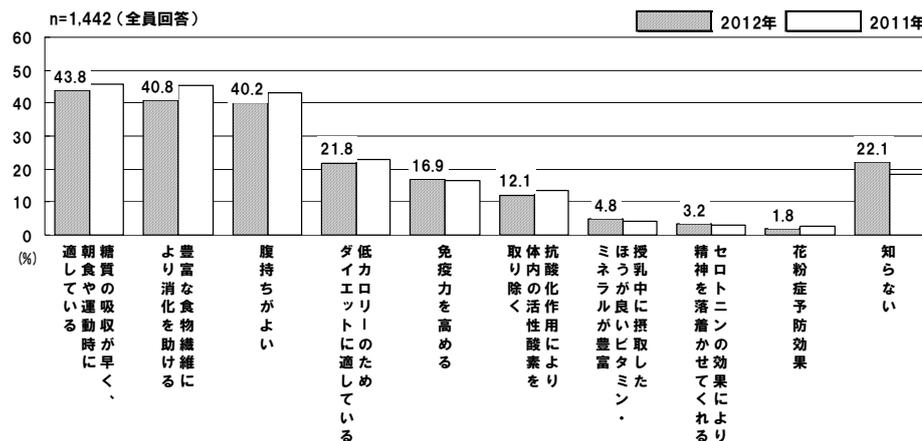


知られているバナナの効果・効能

「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」約44%、「豊富な食物繊維により消化を助ける」約41%、「腹持ちがよい」約40%がよく知られています。

一方、「低カロリーのためダイエットに適している」は2割強、「免疫力を高める」は2割を切る認知でした。

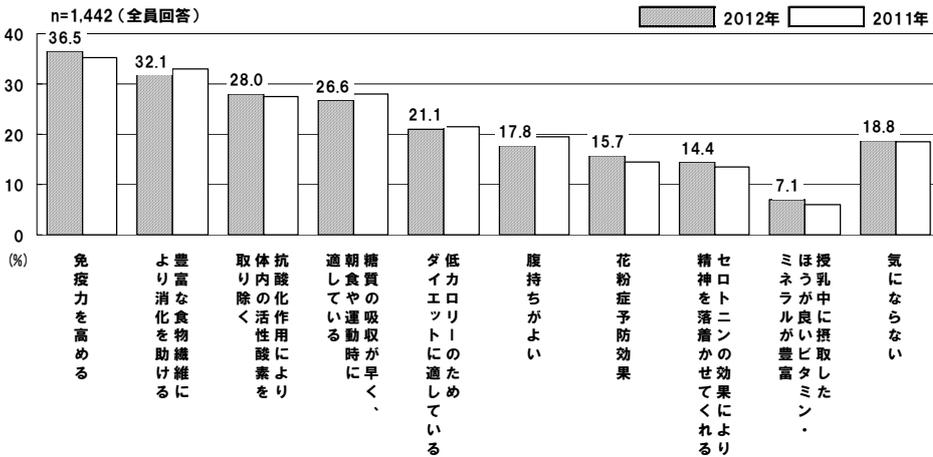
Q. あなたが知っているバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答)



気になるバナナの効果・効能

「免疫力を高める」「豊富な食物繊維により消化を助ける」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」などがいずれも約2割～3割台で、上位に挙がっています。

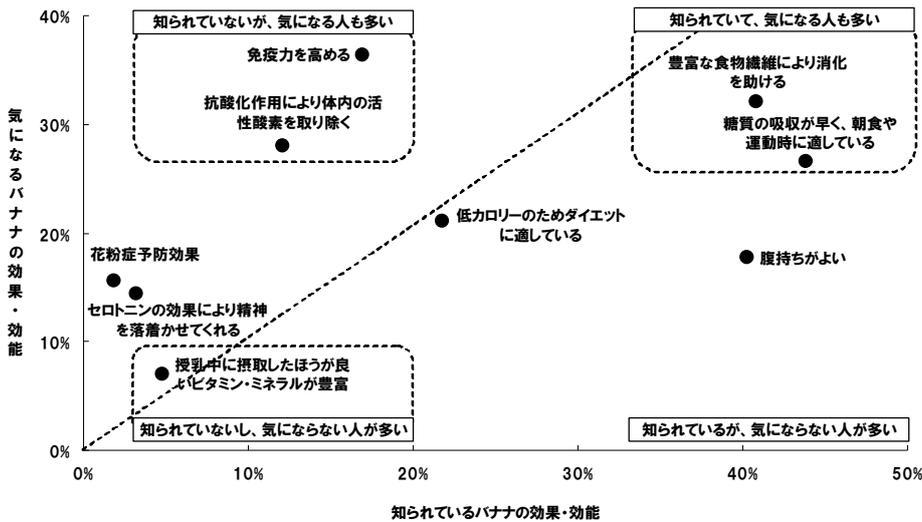
Q. 以下の中から、あなたが気になるバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能

下の図は、バナナの効果・効能について、知られているものと気になるものの割合の関係を示したものです。

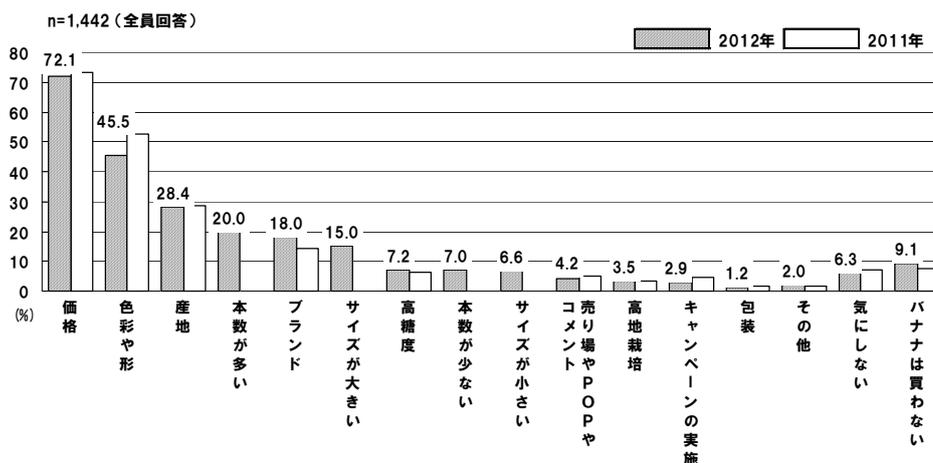
『知られていないが、気になる人が多い』効果・効能としては、「免疫力向上」「抗酸化作用」が挙げられます。



バナナを買うときの基準

「価格」が約72%で最も高く、次いで「色彩や形」約46%、「産地」約28%が続いています。その他の項目は、いずれも2割以下で、あまり購入基準としては高くないようです。

Q. あなたがバナナを買う時の基準をお選びください。(複数回答)



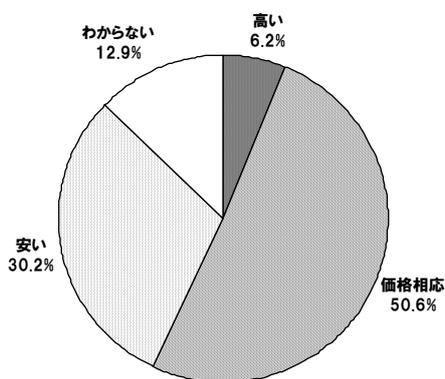
バナナの価格意識

「高い」約6%に対して、「価格相応」約51%、「安い」約30%で、どちらかといえば安いイメージが強い様子が見て取れます。

「価格相応」と「安い」をあわせると8割以上に達することからも、バナナはコストパフォーマンスの良い果物とも考えられます。

Q. あなたはバナナの価格をどう思いますか。(単一回答)

n=1,442 (全員回答)

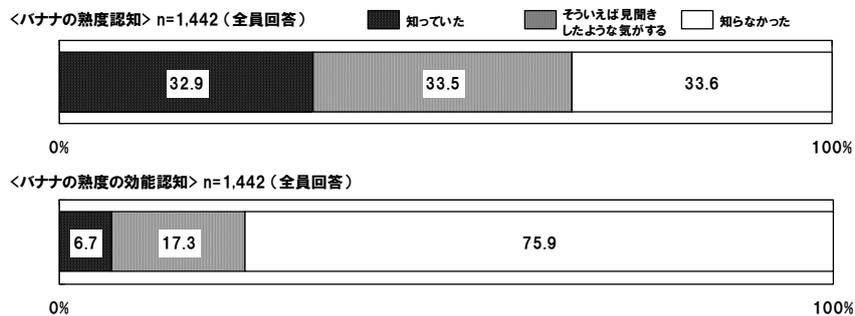


知られているバナナの熟度と熟度の効能

バナナの熟度については、全体の約66%の人が認知していました。但し、熟度による効能の違いについての認知率は、約24%の人が認知しているにとどまっています。

Q.あなたは、バナナにこのような「熟度」があることを、これまでご存じでしたか。(単一回答)

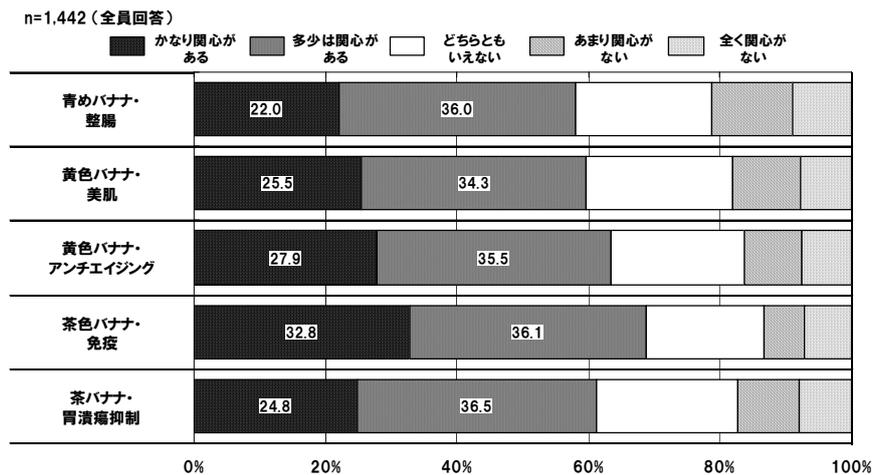
Q.あなたはこのような「熟度によってバナナの効能が異なる」ことを、これまでご存じでしたか。(単一回答)



熟度の効能への興味関心

熟度別効能に対しては、『茶色バナナ=免疫』や『黄色バナナ=アンチエイジング』、『茶色バナナ=胃潰瘍』などを上位として、いずれも過半数の方が関心を示しました。

Q.以下それぞれの「熟度ごとの効能」に対して、あなたはどの程度関心をお持ちになりましたか。(単一回答)

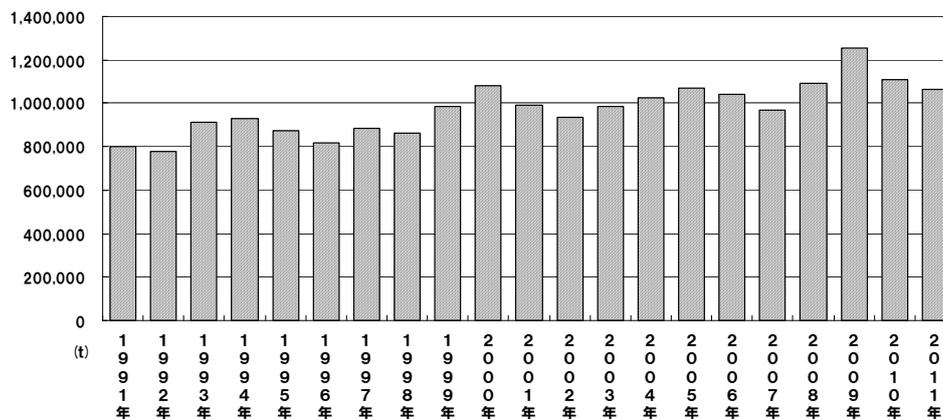


統計資料(財務省貿易統計・総務省統計局家計調査より)

財務省貿易統計

財務省貿易統計のデータによると、2011年のバナナ輸入数量は約106万トンでした。漸減傾向は続いているものの、4年連続で100万トンを超えています。

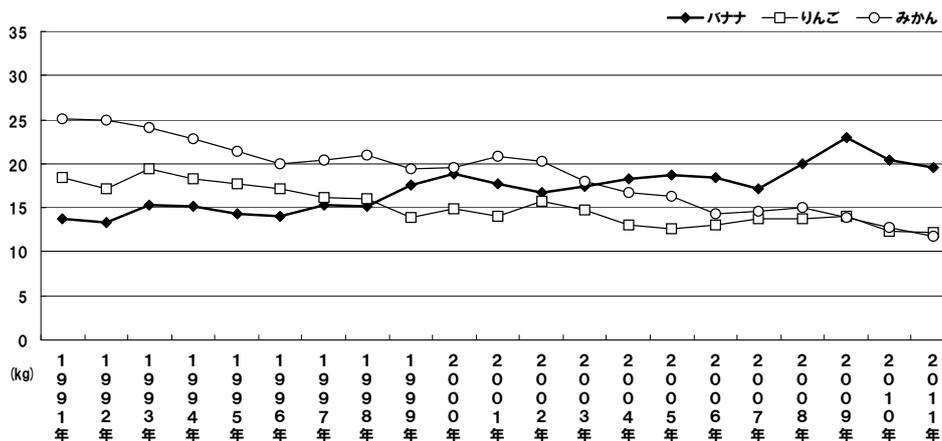
輸入数量



総務省統計局家計調査 (世帯区分: 2人以上の世帯)

2011年度のバナナの年間消費量は、約19.6kgで、景気低迷による消費の落ち込みにより、2008年以来続いていた20kg台を割る結果となりましたが、2004年にみかんを抜いて1位となって以来、果物の年間消費量の1位の座は変わっていません。

バナナ・リンゴ・みかんの年間消費量(2人以上の世帯)



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田1-3-1 トーハン第三ビル

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室 受付時間 午前9時-午後4時

TEL 03-5577-4765

Email info@banana.co.jp

バナナ大学ホームページ <http://www.banana.co.jp>